

## 福井大学「女性研究者研究活動支援事業の取り組みについて」

福井大学では、平成23年度に「女性研究者比率向上のためのポジティブ・アクション」の策定及び男女共同参画推進室に「女性研究者活動支援部門」を設置するなどの取り組みを行ってきた。また、平成24年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択され、ライフイベント期間中の女性研究者に対し研究支援員を配置するなど新たな支援制度を設けた。今後もさらなる女性研究者の増加および活躍推進を目指し支援を行っていく。

### 【推進体制】

平成24年度、男女共同参画推進室を「男女共同参画推進センター」に改組し、推進体制を強化した。そこでは、女性研究者活動支援部門が中心的な役割を担い、学内関係組織や学外機関と連携を取りながら、全学シンポジウムや交流会の開催等、意識啓発や女性研究者交流ネットワークの充実に向け活動を実施している。

### 【女性研究者支援のための主な取り組み】

#### ①女性研究者の研究を支援する者の配置

ライフイベント期間中にある女性研究者（配偶者が研究者である男性研究者を含む）が、出産や育児、介護等と研究活動を両立できるよう支援することを目的に、研究支援者を配置する制度を設けた。この制度は、研究者からの要請に応じ、研究支援者として、研究支援員、技術補佐員、RA（リサーチ・アシスタント）、研究補助員など、希望する支援内容や時間数により必要な支援を受けることができる制度となっている。

毎年度、女性研究者、男性研究者合わせて15名程度の支援希望があり、研究支援者を配置している。研究支援者配置の継続な実施は、女性研究者の両立支援に大きな役割を果たしている。

#### ②病児保育施設等利用のための助成制度を新設

平成25年度、女性研究者の研究活動と育児を両立するため、病気治療中・病回復期にある子を保育施設に預ける場合の利用料に対する費用の助成を行う制度を新設した。小学校3年生までの子を対象とし、施設利用料の半額を上限に助成する。今後は、支援対象者の拡大も検討しながら、継続的に実施していく予定である。

#### ③意識改革および次世代女性研究者育成支援

全学シンポジウムを毎年度開催し、男女共同参画推進及び女性研究者支援に関する啓発や、地域との幅広い連携を図っている。今年度は「ダイバーシティの推進と女性の活躍」をテーマに開催し、女性活躍推進の面からのダイバーシティの必要性について議論するとともに、企業や地方公共団体の取り組みを紹介する。

また、ホームページによる情報発信や、ニュースレターの発行、女性研究者ロールモデルの紹介など、広報活動も継続して行っている。

さらに、全学の教職員を対象に「男女共同参画についての意識調査アンケート」を実施し、男女共同参画推進活動へフィードバックする取組改善へつなげている。

#### ④相談窓口および女性研究者交流ネットワーク

学内に設置された男女共同参画推進センター女性支援ルームでは、毎月、学外からアドバイザーを迎え、コーディネーターとともに、誰もが自由に参加できる交流サロンを開設している。そこには、女性研究者や研究者を目指す女子学生、男性研究者が参加しており、各種情報の提供等を行うとともに、相談対応や女性研究者交流ネットワークの構築に向け活動を行っている。

特に、女性研究者の少ない工学系分野では、工学研究科退職女性研究者をアドバイザーとして迎え、若手女性研究者や女子学生の相談に応じている。

#### ⑤女性研究者比率向上のためのポジティブ・アクション

本学では、女性研究者比率向上のためのポジティブ・アクションを策定し、平成27年度までに女性研究者比率17%以上の達成を目指している。今後も引き続き、女性研究者活動支援部門が機動的に活動し、女性研究者に対する支援活動を全学的に進め、さらなる女性研究者の増加を目指していく。

---

### 【連絡先】 福井大学 男女共同参画推進センター

TEL:0776-27-9858 FAX:0776-27-9858

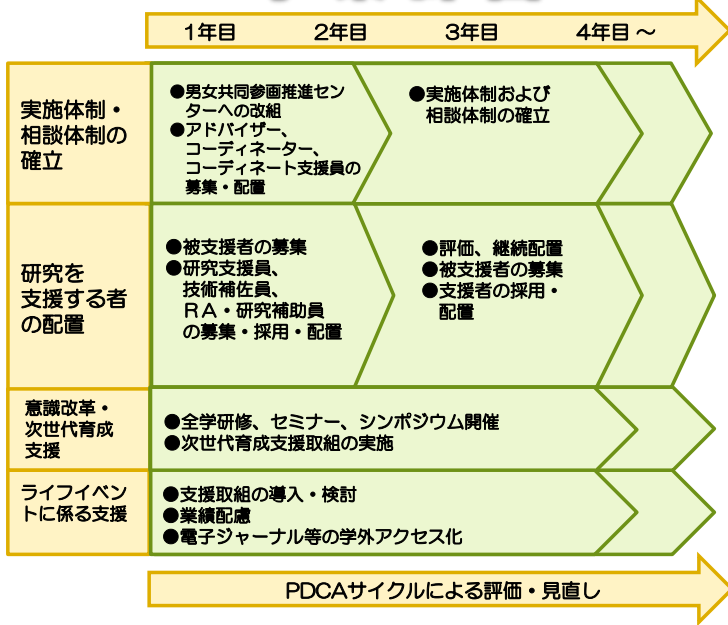
E-mail:danjyo@ml.cii.u-fukui.ac.jp

URL:http://danjyo.ad.u-fukui.ac.jp/

# 「福井大学」女性研究者研究活動支援事業の取り組み

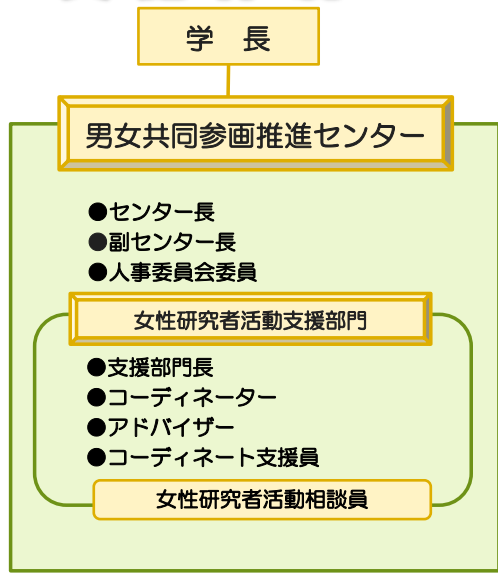
支援体制の充実や研究環境の整備、意識改革等を、積極的に行い、さらなる女性研究者の増加を目指します。

## 事業計画



自主的取り組みとして継続実施

## 実施体制



## 主な活動内容

### ■ 両立支援 ■

● **研究支援者の配置**

ライフイベントの期間中の研究者に対して、両立支援を目的に研究支援者を配置しています。

◆ **支援対象者**

- 女性研究者
- 配偶者が研究者である男性研究者

↓

- 妊娠中または小学校3年生までの子を養育
- 2親等以内の親族を介護

＜支援者配置の実績＞

	H24	H25	H26
利用した女性研究者	11人	14人	11人
利用した男性研究者	2人	3人	2人
研究支援者数	19人	23人	19人

※ H26.10月現在

● **病児保育施設等の利用助成**

女性研究者の研究活動と育児を両立するため、病児治療中・病児回復期にある子を保育施設に預ける場合の、利用料に対する費用の助成を行っています。

- 小学校3年生まで
- 子ども1人につき年度内12回
- 利用料金の半額を助成（1日1,000円を上限）

### ■ 相談窓口の設置 ■

女性研究者活動相談員やアドバイザーが、女性研究者及び女子学生の相談対応を行っています。

### ■ 交流サロン開催 ■

専門分野を超えた交流の場として交流サロンを開催しています。女性研究者・学生が情報交換や相談できる環境を作っています。



### ■ 広報 ■

男女共同参画推進センターの活動報告や各種イベントのご案内のほか、育児・介護に関する情報提供を行っています。

- ホームページ更新
- ニュースレター発行
- 育児・介護支援制度案内パンフレット作成



### ■ 意識啓発及び次世代育成 ■

男女共同参画についての理解と認識を深めるとともに、学内の意識改革を進め、女性研究者支援に関する意識啓発を行っています。

● **全学シンポジウム開催**

◆ 第3回 平成26年10月28日  
テーマ「ダイバーシティの促進と女性の活躍～多様な人材の能力を活かして組織の力にする～」

講師 日高 乃里子氏  
帝人株式会社 人財部  
ダイバーシティ推進室長



● 「女子高校生のための科学・技術者への招待セミナー」への学生の派遣



● オープンキャンパスへの参加

女性研究者のロールモデル紹介や、センターの活動をパネル展示で紹介しました



● 「男女共同参画についての意識調査アンケート」実施(全教職員対象)

(例) 仕事と私生活の時間配分について、現在、理想と考えるバランスで生活できていますか。

